

1. 素材単価に関する調査

貴事業所でご使用の素材の購入価格(単価)についてご記入ください。
 ※購入実績のない素材については、ご回答いただく必要はありません。

	平成21年9月の 購入価格について ご記入ください。	平成17年11月 ～平成18年10 月の期間中のい ずれかの時点で の価格について ご記入ください。 ※こちらの期間については 資料が残っている場合な ど、可能な範囲でお答えく ださい。
座位保持装置用素材		
101 ウレタンチップ #6000 10mm	円/m	円/m
102 ウレタンチップ #6000 20mm	円/m	円/m
103 ウレタンチップ #6000 60mm	円/m	円/m
104 ウレタンチップ #8000 10mm	円/m	円/m
105 ウレタンチップ #8000 20mm	円/m	円/m
106 ウレタンチップ #8000 60mm	円/m	円/m
107 ウレタン 10mm厚	円/m	円/m
108 低反発ウレタン 15mm厚	円/m	円/m
109 ムマック 10mm厚	円/m	円/m
110 ムマック 15mm厚	円/m	円/m
111 合板 90cm x 180cm 9mm厚	円/枚	円/枚
112 ビニールレザー	円/m	円/m
113 マジックベルト 25mm幅	円/m	円/m
114 マジックベルト 38mm幅	円/m	円/m
115 マジックベルト 50mm幅	円/m	円/m
116 Wラッセル	円/m	円/m
117 エアータッチ(シングル)	円/m	円/m
118 エアータッチ(ダブル)	円/m	円/m
119 クラリーノ	円/m	円/m
120 フェルト	円/m	円/m
121 ナイロンベルト 25mm幅	円/m	円/m
122 ナイロンベルト 38mm幅	円/m	円/m
123 ナイロンベルト 50mm幅	円/m	円/m
124 ラミネート 5mm厚	円/m	円/m
125 防水シート	円/m	円/m
126 バックル 25mm幅用	円/個	円/個
127 バックル 38mm幅用	円/個	円/個
128 バックル 50mm幅用	円/個	円/個
129 アジャスター 25mm幅用	円/個	円/個
130 アジャスター 38mm幅用	円/個	円/個
131 アジャスター 50mm幅用	円/個	円/個
132 Dカン 25mm幅用	円/個	円/個
133 Dカン 38mm幅用	円/個	円/個
134 Dカン 50mm幅用	円/個	円/個

2. 費用構成についての調査: 座位保持装置

座位保持装置について仮に貴事業所で下記のようなものを製作されるとすればその費用の内訳はそれぞれ何パーセントになるかご回答ください。またもし部品製作・加工等の外注を行うことが考えられるようでしたら、その内容についてお書きください。

※費用のかかり方については平均的なケース(極端に費用のかかるケースや少ない費用でできるケースではなく、標準的なケース)についてお答えください。

座位保持装置			
	木製構造フレーム	金属構造フレーム	完成用部品構造フレーム
	<p>採寸</p> <p>●支持部 頭部、上肢(2個)、体幹部・モールド・採寸、骨盤大腿部・モールド・採寸、下腿(2個)、足台(2個)</p> <p>●支持部の連結 固定・頭部、角度調整部品・機械式(4個)</p> <p>●構造フレーム 木製、ティルト機構加算</p> <p>●付属品 アームレスト・内張りあり(2個)、腕ベルト(2個)、股ベルト、下腿ベルト(2個)、支持部カバー:体幹部・モールド、骨盤・大腿部・モールド、下腿部(2個)、足部(2個) 体圧分散補助素材:頭部、多機能キャスター(4個)、介助用グリップ(2個)、高さ調整用台座</p> <p>●調整機構 高さ調節:足部(2個)、アームレスト(2個)、脱着機構:体幹パッド(2個)、骨盤パッド(2個)、アームレスト(2個)、内転防止パッド</p> <p>完成用部品:頭部継手(購入価格=17,600円、公示価格=25,000円)</p>	<p>採寸</p> <p>●支持部 頭部、上肢(2個)、体幹部・シート張り、骨盤大腿部・シート張り、下腿(2個)、足台(2個)</p> <p>●支持部の連結 固定・頭部、遊動・腰部(2個)、遊動・膝部(2個)、遊動・足部(2個)</p> <p>●構造フレーム 金属製、ティルト機構加算</p> <p>●付属品 カットアウトテーブル・表面クッション張り、アームレスト(2個)、肘パッド(2個)、胸受けロール、下腿保持パッド(2個)、足部保持パッド(2個)、胸ベルト、骨盤ベルト、下腿ベルト 支持部カバー:頭部、上肢(2個)、体幹部・シート張り、骨盤・大腿部・シート張り、下腿部(2個)、足部(2個)、脱着式加算(3個) テーブル 体圧分散補助素材:体幹部、下腿部(2個)、足部(2個)</p> <p>●調節機構 高さ調節:足部支持部(2個)、開閉機構:足部支持部(2個)</p> <p>完成用部品:頭部継手(購入価格=17,600円、公示価格=25,000円)</p>	<p>採寸:頭・頸部、上肢(2)、下腿・足部(2)、採型:体幹部、骨盤・大腿部</p> <p>●支持部 頭部、上肢(2個)、下腿(2個)、足台(2個)</p> <p>●支持部の連結 なし</p> <p>●構造フレーム 完成用部品</p> <p>●付属品 カットアウトテーブル・表面クッション張り、アームレスト(2個)、肘パッド(2個)、胸受けロール、下腿保持パッド(2個)、足部保持パッド(2個)、胸ベルト、骨盤ベルト、下腿ベルト 支持部カバー:頭部、上肢(2個)、体幹部・モールド、骨盤・大腿部・モールド、下腿部(2個)、足部(2個)、脱着式加算(3個) テーブル 体圧分散補助素材:体幹部、下腿部(2個)、足部(2個)</p> <p>●調節機構 高さ調節:足部支持部(2個)、開閉機構:足部支持部(2個)</p> <p>完成用部品:構造フレーム(屋外用)、ヘッドレスト、背もたれ、座面(購入価格計=212,600円、公示価格272,000円)</p>
積算額 費用内訳	319,250 円	256,200 円	460,550 円
素材費	%	%	%
※完成用部品以外の材料費です。途中ロス分を含みます。			
人件費(製造・営業)	%	%	%
※貴事業所内における平均的な賃金率水準の従業員が作業をされたケースを想定してご回答ください。該当従業員の賞与相当分、所得税源泉徴収分、社会保険料当人負担分、法定福利費(社会保険料事業者負担分)を含みます。			
オーダーメイド外注費	%	%	%
部品外注内容をお書きください(例)設計内容に従って構造フレームの製作を行う			
※部品製作や製作物の加工などで、オーダーメイド外注を行っているものについてその費用の比率(%)と、外注内容についてお書きください。			
完成用部品購入費	6 %	7 %	46 %
その他の費用	%	%	%
※その他製造費用とは、上記各項目以外の費用、すなわち光熱費、クリーニングや物品賃貸等サービス利用料、減価償却費、一般管理費(事務・管理職の人件費を含む)等をさすものとします。			
利益	%	%	%
合計(合計が100%になるよう各欄をご記入ください)	100 %	100 %	100 %

長時間にわたりご回答に協力いただきまして、どうもありがとうございました。

義肢・装具・座位保持装置製作・修理事業者を対象とした
補装具供給にかかわる実態調査

■ 調査票 A：義肢・装具・座位保持装置事業全般に関する調査票 ■

国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所
井上剛伸、山崎伸也、我澤賢之

●本調査の趣旨

義肢・装具・座位保持装置はその利用者にとって欠かすことのできない用具であり、それらの安定的な供給は利用者の自立や社会参加を支える上できわめて重要です。

私どもの研究では、義肢・装具・座位保持装置を必要とする人が、今後も安定的かつ持続的に利用できるようにするため、当該補装具の製作・修理について、最近の動向を反映し、適切な価格設定の方法について提案することを目的としております。

本調査票による調査は、義肢・装具・座位保持装置の製作・修理の費用・売上などに関する動向を調査するものです。調査は事前の予備調査の対象とさせていただいた事業者を除く全事業者（約 600 事業者）に対し実施させていただいているものです。集めさせていただいたデータをもとに、補装具製作・修理にどれだけの費用を要するか、安定的な補装具供給を続けるうえでどの程度の利益を見込む必要があるかなど分析を加えたうえで、最終的には義肢・装具・座位保持装置の価格設定の方法についての提案をまとめることを予定しております。この研究の結果は、報告書・学会等で報告させていただくほか、厚生労働省補装具評価検討会に対し報告することを考えております。

なお、本調査へのご回答は任意であり回答しないことにより不利益が生じることはございませんが、研究趣旨ご理解の上、是非ともご協力をお願いいたします。

※本調査は、国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所が平成 20 年度厚生労働科学研究費補助金（事業名「経済学的手法による補装具の価格構成に関する研究」）を受けて進めております。

●データの取り扱いについて

本調査の結果は、匿名化をした形で入力処理いたしますので、研究成果発表の段階で個別事業者の回答内容が第三者に知られることはありません。また、ご回答いただいた元データは、本研究のみに使用いたします。第三者に提供されることもありません。本研究期間終了後（平成 21 年度末研究費補助期間終了）、ご回答いただいた調査票は廃棄いたします。

●記入していただくにあたって

次ページ（エクセルファイル上では、次のワークシート）以降の設問におきまして、青い太枠の箇所（□）についてご記入をお願いします。なお、数値をご記入いただく欄については、記入内容に基づいて計算処理を行いますので、数値以外の文字を記入なさないで下さい。ご記入上の註記等ございましたら、備考欄にご記入下さい。

● 貴事業所について

貴事業所の所在地について(所在都道府県のみ)

※ 貴事業所の所在都道府県をご記入下さい

→

記入例) 埼玉県

会計期間について

本調査票では、いくつかの設問において会計期間(事業年度)ごとの売上げ等をお訊きしているところがあり、それらの設問の記入欄には、「1期前」、「2期前」といった記述がございます。これは、平成20年6月1日時点で決算の終了している直近の会計期間を1期前、その前の期を2期前として、ご記入下さい。

※ 自立支援法施行の影響を考慮する観点から、いくつかの設問では、過去3会計期間の記入欄を設けています。

なお記入の難しい箇所、会計期間等ございましたら、記入可能な欄のみご記入下さい。

例)

3月末日決算の場合

1期前:平成19年4月1日～20年3月31日まで
2期前:平成18年4月1日～19年3月31日まで
3期前:平成17年4月1日～18年3月31日まで

9月末日決算の場合

1期前:平成18年10月1日～19年9月30日まで
2期前:平成17年10月1日～18年9月30日まで
3期前:平成16年10月1日～17年9月30日まで

12月末日決算の場合

1期前:平成19年1月1日～19年12月31日まで
2期前:平成18年1月1日～18年12月31日まで
3期前:平成17年1月1日～17年12月31日まで

※ 貴事業所の決算日をご記入下さい。

→ 月 日

記入例) 3月 31日

次ページ以降、回答をご記入いただくにあたって

- ・青い太枠の中をご記入下さい。
- ・記入の困難な箇所などありましたら、空欄にしておいて下さい。
- ・なお、金額記入欄等で他の金額等と切り分けが困難な場合、調査票に、「切り分けが困難な場合・・・」などの該当する説明書きがあれば、それに沿ってご記入下さい。
- ・とくにそのような説明書きがない場合は、切り分けが困難な金額等と併せた額をご記入いただき、その旨備考欄に併せてご記入下さい。
(なお、そのうち該当する金額項目の占めるおおよその割合が分かるときは、それもご記入下さい。)
- ・その他、記入上の但し書き、補足事項等ございましたら、各ページの備考欄にご記入下さい。

設問1 義肢・装具・座位保持装置など売り上げ等に関する設問

1-1 事業所の収益について
過去3年間の会計期間における、貴事業所の収益(売り上げ)について、ご記入ください。

	3期前		2期前		1期前		記入例	
	金額	件数など	金額	件数など	金額	件数など	金額	件数など
義肢 ◆ 義肢製作 ◆ 義肢修理		件 件		件 件		件 件	154,208,125 3,120,544	円 円 62 21
装具 ◆ 装具製作 ◆ 装具修理 ◆ 装具既製品取り付け		件 件 件		件 件 件		件 件 件		円 円 円 円 円 円
座位保持装置 ※座位保持装置の取り扱いのある事業者様は、下記の、ケースA、ケースBいずれか該当するほうにご記入下さい。 ケースA 座位保持装置と車いすの切り分けができる場合		件 件		件 件		件 件		円 円
座位保持装置製作 ◆ 座位保持装置修理 ◆ ケースB 座位保持装置と車いすの切り分けができない場合		件 割		件 割		件 割	1,722,500 250,000 1,725,410	円 円/件 円 円/件 円 円/件
座位保持装置・車いす製作 ◆ うち、座位保持装置の件数の比率 取扱座位保持装置(製作)の平均価格 座位保持装置・車いす修理 ◆ うち、座位保持装置の件数の比率 取扱座位保持装置(修理)の平均価格		件 割		件 割		件 割	180,000	円/件 円/件 3.5 割
小計		円		円		円	170,276,579	円

座位保持装置の取扱がある場合、ケースA・Bのいずれか一方をご記入下さい。

→ 再掲
数値をp.5で書き写して下さい

※エクセルファイルの様式で、表中桃色に塗られている箇所は、記入結果に基づいて自動的に計算がされるセルです。
備考(註記、補足事項などございましたら、ご記入下さい) ※記入欄の様式に書くことのできない事項なども各ページの備考欄にお書き下さい。

1-1 事業所の収益について(つづき)

過去3年間の会計期間における、貴事業所の収益(売り上げ)について、ご記入ください。

売上げ金額表(3枚中の2枚目)

	3期前		2期前		1期前		記入例	
	金額	割合	金額	割合	金額	割合	金額	割合
義肢・装具								
義肢・装具製作自費分 ◆	円		円		円		552,344 円	
義肢・装具製作装具修理・調整等自費分 ◆	円		円		円		439,870 円	
座位保持装置								
※座位保持装置の取り扱いのある事業者様は、下記の、ケースA、ケースBいずれか該当するほうにご記入下さい。								
ケースA 座位保持装置と車いすの切り分けができる場合	円		円		円			
座位保持装置製作自費分 ◆	円		円		円			
座位保持装置修理・調整等自費分 ◆	円		円		円			
ケースB 座位保持装置と車いすの切り分けができない場合	円		円		円		1,250,040 円	
座位保持装置・車いす製作自費分 ◆	円		円		円			
うち座位保持装置の製作金額の比率	円		円		円			6 割
座位保持装置・車いす修理・調整等自費分 ◆	円		円		円		2,356,000 円	
うち座位保持装置の修理・調整金額の比率	円		円		円			6.5 割
小計 義肢・装具・座位保持装置自費分 ○	円		円		円		4,598,254 円	
ケースBの場合、車いすを含む (ページ内の◆の項目の金額の合計)	→再掲		→再掲		→再掲		→再掲	
	数値をp.5で書き写して下さい		数値をp.5で書き写して下さい		数値をp.5で書き写して下さい		数値をp.5で書き写して下さい	

備考(註記、補足事項などございましたら、ご記入下さい)

1-1 事業所の収益について(つづき)
過去3年間の会計期間における、貴事業所の収益(売り上げ)について、ご記入ください。

前ページまで(p.3,4)の
小計金額です。

売上上げ金額表(3枚中の3枚目)	3期前 金額	2期前 金額	1期前 金額	記入例 金額
義肢・装 具・座位 保持装置	円 円	円 円	円 円	170,276,579 円 4,598,254 円
その他の 営業収益	円	円	円	円
営業外収益(投資、財務活動から得られる収益。受取 利息、有価証券売却益、受取配当金など) ◆	円	円	円	円
経常収益 (このページの◆の項目の合計をご記入下さい)	円	円	円	34,565,442 円 209,440,275 円

前ページまでの小計(p.3,p.4から下記項目を書き写して下さい)

(再掲)公費使用分(p.3の◎の項目) ◆
(再掲)自費分(p.4の○の項目) ◆

補装具完成用部品・材料の販売、補装具関
連部品の受注生産・販売 ◆
その他の補装具事業 ◆

※車いすについては、座位保持装置の取り扱いはない場合並びにp.3, p.4 で「ケースA」に該当した場合は、こちら
の欄に含めて記入して下さい。「ケースB」に該当した場合は、すでに該当売上金額を記入済みですので、ここ
では車いすの売上金額を加算しないで下さい。

福祉用具の販売・レンタル ◆
その他の事業 ◆

取扱のある事業の売上げに
ついて、ご記入下さい(取扱
がないものは空欄でお願いし
ます)。

備考(註記、補足事項などございましたら、ご記入下さい)

1-2 更生用義肢・装具の占める比率

(義肢または装具の扱いのある事業者様のみご記入下さい。)1期前の会計期間に製作・既製品取り付けされた義肢・装具の製作売上げ金額ならびに製作件数について、更生用・治療用合計のなかで更生用の占める大まかな比率についてご記入下さい。

		更生用
		義肢・装具について更生用と治療用を併せた全体を10割としたとき、更生用の占める割合をご記入下さい。
義肢 (製作)	売上金額	割
	件数	割
装具 (製作・既製品取り付け)	売上金額	割
	件数	割

備考(註記、補足事項などございましたら、ご記入下さい)

設問2 義肢・装具・座位保持装置製作事業者の経常費用に関する設問

2-1-i 人件費についてご記入下さい。

	3期前 金額	2期前 金額	1期前 金額	記入例 金額
義肢・装具・座位保持装置の製造にかかる人件費	[製造] 義肢・装具・座位保持装置の製造にかかる人件費(註1・註2) ◆ 通常労賃支給額(残業を含む) ◆ 賞与支給 ◆ 退職金その他積み立て ◆ 法定福利費	円 円 円 円	円 円 円 円	円 円 円 円 74,235,022 4,523,661 1,123,536 11,346,345
	[営業] 義肢・装具・座位保持装置の営業にかかる人件費(註1・註2) ◆ 通常労賃支給額(残業を含む) ◆ 賞与支給 ◆ 退職金その他積み立て ◆ 法定福利費	円 円 円 円	円 円 円 円	円 円 円 円 註1、註2をご参照下さい。
その他	[管理部門] 役員ならびに経理・人事等事務にかかる人件費 ◆ 通常労賃支給額(残業を含む) ◆ 賞与支給 ◆ 退職金その他積み立て ◆ 法定福利費	円 円 円 円	円 円 円 円	円 円 円 円 9,238,450 4,302,876 138,547 1,459,392
	[他の事業] その他義肢・装具・座位保持装置以外の事業にかかる人件費 ◆ 通常労賃支給額(残業を含む) ◆ 賞与支給 ◆ 退職金その他積み立て ◆ 法定福利費	円 円 円 円	円 円 円 円	円 円 円 円 4,432,911 254,329 64,367 520,398
	[その他] 従業員全体にかかる福利厚生費等(法定福利費を含まない) ◆	円	円	円 10,120,034
小計 人件費 ◎ (このページの縦の合計(◆)の項目合計)をご記入下さい。)		円 → 再掲 数値をp.10で書き写して下さい	円 → 再掲 数値をp.10で書き写して下さい	円 → 再掲 数値をp.10で書き写して下さい 121,759,868

註1 座位保持装置事業と車いす事業との間で人件費等の切り分けが困難な場合は、車いす事業を含めた金額をご記入下さい。

註2 製造と営業とでスタッフを分けていらっしゃる事業所は、製造と営業を合わせた数字を、製造の欄にご記入下さい。

※法定福利費：社会保険料の雇用者負担分をさします(健康保険料、労災保険料、雇用保険料、雇用保険料など)。

備考(註記、補足事項などございましたら、ご記入下さい)

2-1-i 人件費についてご記入下さい。(つづき)
 ※前ページ(エクセルでは、前ワークシート)の内容について、もし切り分けが可能でしたら、製造に従事されている方のうち労働時間が週20時間未満の方についてご記入下さい。

		3期前 金額	2期前 金額	1期前 金額	記入例 金額
義肢・装 具・座位 保持装置	[製造] 義肢・装具・座位保持装置の製造にかかる人件費(註1・註2)	円	円	円	653,456 円
	通常労賃支給額(残業を含む)	円	円	円	7,000 円
	賞与支給	円	円	円	円
	退職金その他積み立て	円	円	円	円
	法定福利費	円	円	円	60,230 円
註1	座位保持装置事業と車いす事業との間で人件費等の切り分けが困難な場合は、車いす事業を含めた金額をご記入下さい。				該当があり、かつデータの切り分けが可能でしたらご記入下さい。
註2	製造と営業とでスタッフを分けていらっしゃる事業所は、製造と営業を合わせた数字を、製造の欄にご記入下さい。				

2-1-i 前ページ(p.7)設問 2-1-i の「義肢・装具・座位保持装置の製造・営業にかかる人件費」の項において、座位保持装置と車いすの間で人件費の切り分けが困難である(前ページ註1参照)事業所のみご回答下さい。

		3期前 割合	2期前 割合	1期前 割合	記入例 割合
座位保持 装置・車 いす	前のページ(p.7)「義肢・装具・座位保持装置の製造・営業にかかる人件費」の項目においてご記入いただいた金額のうち、「座位保持装置+車いす」にかかる比率はおおむね何割と考えられますか。詳細が分からない場合は、大まかな比率をご記入下さい)	割	割	割	6 割
	[製造]における座位保持装置+車いすの比率(註3)	割	割	割	割
	[営業]における座位保持装置+車いすの比率(註3)	割	割	割	6.5 割
註3	製造と営業とでスタッフを分けていらっしゃる事業所は、製造と営業を合わせた数字を、製造の欄にご記入下さい。				

備考(註記、補足事項などございましたら、ご記入下さい)

2-1-i''

従業員等の人数・就業時間について

※前ページ 2-1-i および 2-1-i' で「座位保持装置と車いすとの間で人件費の切り分けが困難とした事業所は、この設問では「座位保持装置」の項に車いす事業における数値を含めて下さい。

従業員等の人数について(※1期前の末における状況をご回答下さい。)

	週20時間以上勤務の方	週20時間未満勤務の方
義肢・装具・座位保持装置事業 製造・営業双方に携わる方 基本的に製造に携わる方 基本的に営業に携わる方	名 名 名	名 名 名
その他 管理部門(役員、経理・人事等事務)およびその他の事業に携わる方	名	名

就業時間について(※1期前の会計期間における状況をご回答下さい。)

下記の各区分ごとに従業員の方の、平均的な年間作業時間をお書き下さい。
(移動時間・就業中の待機時間・残業時間を含みます。なお、休日等で作業していない日数等をご考慮下さい。)

	週20時間以上勤務の方	週20時間未満勤務の方
義肢・装具・座位保持装置事業 製造・営業双方に携わる方 うち営業にかかる時間の割合 基本的に製造に携わる方 基本的に営業に携わる方	時間 割 時間 時間	時間 割 時間 時間
その他 管理部門(役員、経理・人事等事務)およびその他の事業に携わる方	時間	時間

営業における用務以外にかかる時間について(※1期前の会計期間における状況をご回答下さい。)

営業における実用務以外にかかる時間(移動に要した時間、待機時間)は営業に従事されていた時間全体(残業を含む)に対して何割ぐらいでしょうか。

	割
--	---

備考(註記、補足事項などございましたら、ご記入下さい)

--

2-1-ii その他の費用についてご記入下さい。

	3期前		2期前		1期前	
	金額	車いすの割合	金額	車いすの割合	金額	車いすの割合
人件費	円	円	円	円	円	円
(再掲)小計人件費 ◆ (7ページ⑩の項目の数値を書き下して下さい)						
※車いす事業との切り分けが困難な場合は、「金額」欄には車いす事業にかかる費用を併せた金額をご記入いただき、「車いすの割合」欄に金額のうち車いすの占めるおおよその割合をご記入下さい。(車いすとの切り分けが可能な場合は、「車いすの割合」欄は空欄にておいて下さい。)						
材料・部品等購入費 ◆ 内訳(切り分けできる項目のみ、ご記入下さい) - 完成用部品購入費 - その他の部品(オーダーメイドを含む)、 製作・修理にかかる定型、作業の外注など - その他材料・素材	円	円	円	円	円	円
営業などにより要する交通費 ◆ (運賃、ガソリン代、有料道路利用料など)	円	円	円	円	円	円
その他の営業費用1(註1) ◆ (その他の営業費用のうち、義肢・装具・座位保持装置事業に關わりと切り分けができる経費。当該事業に關する機械・車両等のリース代、光熱費、材料以外の消耗品代、租税公課(一般管理費算入分)(註2)、減価償却費など。)	円	円	円	円	円	円
その他の営業費用2 ◆ (その他の営業費用のうち、義肢・装具・座位保持装置事業以外に關する経費。当該事業に關する材料費、交通費、機械・車両等のリース代、光熱費、材料以外の消耗品代、租税公課(一般管理費算入分)(註2)、減価償却費など。)	円	円	円	円	円	円
本業経費以外の、財務的な費用(支払利息、有価証券売却損等) ◆	円	円	円	円	円	円
経常費用合計	円	円	円	円	円	円

註1 義肢・装具・座位保持装置以外の事業と切り分けの難しい費用については、下の「その他の営業費用2」の欄に合算して、ご記入下さい。

註2 ここで租税公課は、所得税、法人税、事業税(事業税外形標準課税部分を除く)以外の一般管理費に算入されるものです。

備考(註記、補足事項などございましたら、ご記入下さい)
具体的には、固定資産税、印紙税、自動車税、事業税外形標準課税部分などの税のほか、障害者雇用納付金など公的な課金が入ります。

2-2 営業に関わる交通費・出張回数について

2-2-i 補装具製作・修理1件に要する出張回数について(1期前の会計期間について)

装具・器具・座位保持装置の製作・修理を1件完了するために必要な、平均営業出張回数をご記入下さい。

	装具	座位保持装置
製作	納品までに	回
	納品後9ヶ月間の調整等に	回
	納品までに	回
修理	納品後3ヶ月間の調整等に	回
	納品までに	回
	納品後9ヶ月間の調整等に	回
既製品取付	回	回

2-2-ii 遠隔地出張について

過去3年間の会計期間における、最も交通費(往復あわせて)が多く掛かった営業等出張事例3例について、その概要をご記入下さい。

移動区間	交通所要額(概数)	所要時間	概要
記入例) 所沢-羽田空港-八丈島(往復)	28,000円	12時間	日帰り
		6時間	
		1時間	
	円	所要時間	時間
		うち正味移動時間	時間
		用務時間	時間
	円	所要時間	時間
		うち正味移動時間	時間
		用務時間	時間
	円	所要時間	時間
		うち正味移動時間	時間
		用務時間	時間

※2-2-ii aの「所用時間」については、往路・復路の移動、用務、待機(宿泊等交通施設外での時間を含む)等に要した一連の所用時間を記載して下さい。「正味移動時間」については、交通機関・車両・徒歩などでの移動に要した正味の時間をご記入下さい。ただし駅・空港・港等交通施設内での乗り換え待ち時間は含むものとします(たとえば、船便待ちのための前宿泊等における時間は、「所要時間」には含めませんが「正味移動時間」には含みません)。「用務時間」は、用務に要した時間をご記入下さい。

備考(註記、補足事項などございましたら、ご記入下さい)

2-2-iii b 1期前の会計期間に関して、下記の遠隔地などへの出張件数をご記入下さい。

	1期前
1. 貴事業所よりの用務地までの片道正味移動時間で下記に該当する件数をご記入下さい(なお、用務などの時間は含みません)。※一回の出張で複数の出先を訪問している場合は、単一の訪問先のみを訪問した場合の正味移動時間を考えていただき、該当する場合はすべてを加算して下さい。	件
片道2時間以上4時間未満	件
片道4時間以上6時間未満	件
片道6時間以上	件
2. 貴事業所よりの用務地までの片道正味移動距離で下記に該当する件数をご記入下さい。(1と重複する場合も、そのままご回答下さい)※一回の出張で複数の出先を訪問している場合は、個々の訪問先のみを訪問した場合の正味移動距離を考慮していただき、該当する場合はすべてを加算して下さい。	件
片道50km以上100km未満	件
片道100km以上200km未満	件
片道200km以上	件
3. 下記にあてはまる出張の件数をご記入下さい(1、2と重複する場合も、そのままご回答下さい)	件
船便による移動	件
航空機による移動	件
うち、船便併用	件

設問3 ご意見等について

3-1 義肢・装具・座位保持装置の修理項目・付属品(現行制度では、座位保持装置のみ)等で、補装具費の制度に載せ価格設定をすべきとお考えのものがございましたら、該当する欄にご記入下さい。

	修理項目	付属品	その他
義肢			
装具			
座位保持装置			

3-2 その他のご意見について

i 設問3-1にご記入いただいた以外で、義肢・装具・座位保持装置の価格に反映すべき費用項目について(たとえば、アフターサービス、技術料等、ご意見等ございましたら併せてご記入下さい)

--

ii 義肢・装具・座位保持装置に関する制度の運用について

--

iii 義肢・装具・座位保持装置の判定のあり方について

--

iv その他

--

お忙しいなか長時間にわたるご回答に協力いただきまして、どうもありがとうございました。

